

## II 病院報告

### 1 患者数

#### (1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

令和元年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,234,144人で、前年に比べ1.0%減少している。

このうち、「精神科病院」は213,237人で、前年に比べ0.8%減少し、「一般病院」は1,020,906人で、前年に比べ1.1%減少している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は68,089人、「療養病床」は270,979人、「一般病床」は680,292人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は30,226人となっている。

また、1日平均新入院患者数は45,134人、1日平均退院患者数は45,183人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は4,186人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は1,556人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表12 年間患者数，病院の種類－病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

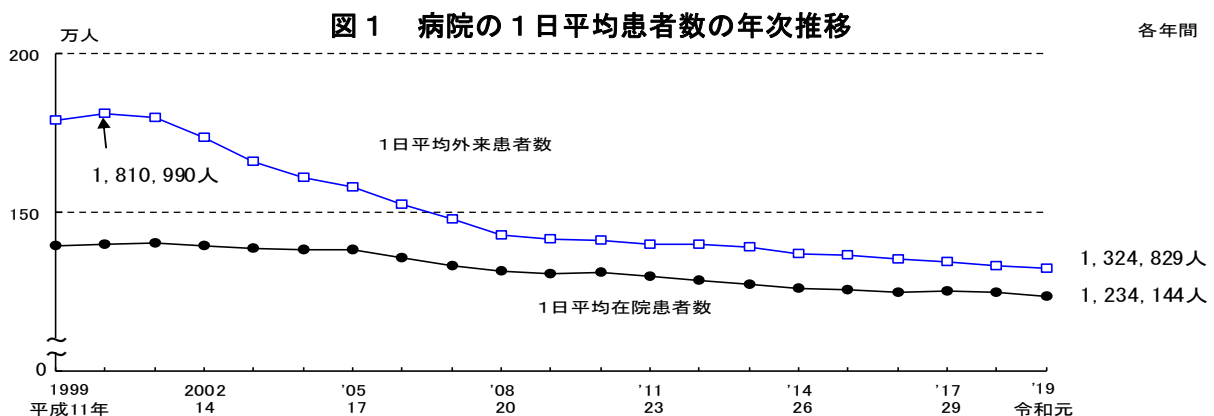
表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

病 院	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	対前年 増減率	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	対前年 増減率	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	対前年 増減率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
病 院 総 数	1 234 144	1 246 867	△ 1.0	45 134	44 826	0.7	45 183	44 878	0.7
精 神 科 病 院	213 237	214 956	△ 0.8	709	713	△ 0.6	716	718	△ 0.3
一 般 病 院	1 020 906	1 031 911	△ 1.1	44 425	44 113	0.7	44 467	44 160	0.7
精 神 病 床	68 089	69 361	△ 1.8	341	348	△ 2.0	351	360	△ 2.5
感 染 症 病 床	73	67	9.0	9	9	0.0	8	7	14.3
結 核 病 床	1 474	1 614	△ 8.7	24	25	△ 4.0	22	24	△ 8.3
療 養 病 床	270 979	281 799	△ 3.8	1 257	1 248	0.7	1 894	1 879	0.8
一 般 病 床	680 292	679 070	0.2	42 794	42 482	0.7	42 192	41 890	0.7
(再掲) 介 護 療 養 病 床 <sup>1)</sup>	30 226	39 239	△ 23.0	60	78	△ 23.1	91	107	△ 15.0
療養病床を有する診療所									
療 養 病 床	4 186	4 763	△ 12.1	29	34	△ 14.7	38	44	△ 13.6
(再掲) 介 護 療 養 病 床 <sup>1)</sup>	1 556	1 812	△ 14.1	9	11	△ 18.2	10	12	△ 16.7

注：1) 介護療養病床は療養病床の再掲である。

2) 途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

## (2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,324,829人で、前年に比べ0.7%減少している。

このうち、「精神科病院」は58,405人で、前年に比べ0.1%減少し、「一般病院」は1,266,423人で、前年に比べ0.7%減少している。(表2)

人口10万対1日平均外来患者数は全国1,050.1人で、前年(1,055.1人)に比べ5.0人減少している。

都道府県別にみると、高知県(1,747.8人)が最も多く、次いで徳島県(1,473.3人)となっており、神奈川県(814.3人)、静岡県(840.1人)などが少なくなっている。(図2)

(参考)

統計表12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

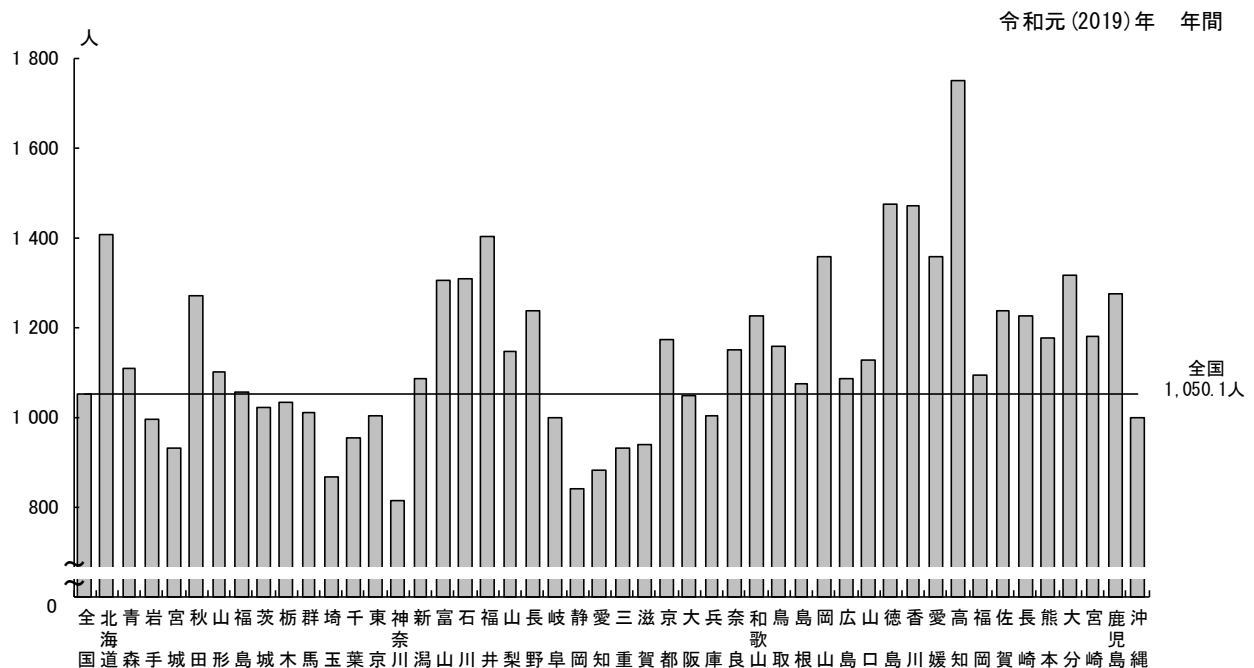
統計表14 都道府県-指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 病院の1日平均外来患者数

	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	
病院	人	人	%
総数	1 324 829	1 334 097	△ 0.7
精神科病院	58 405	58 489	△ 0.1
一般病院	1 266 423	1 275 608	△ 0.7

注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

図2 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数



### (3) 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数

全国の人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「全病床」は978.2人で、前年(986.1人)に比べ7.9人減少、「精神病床」は223.0人で、前年(224.9人)に比べ1.9人減少、「療養病床」は214.8人で、前年(222.9人)に比べ8.1人減少している。「一般病床」は539.2人で、前年(537.1人)に比べ2.1人増加している。

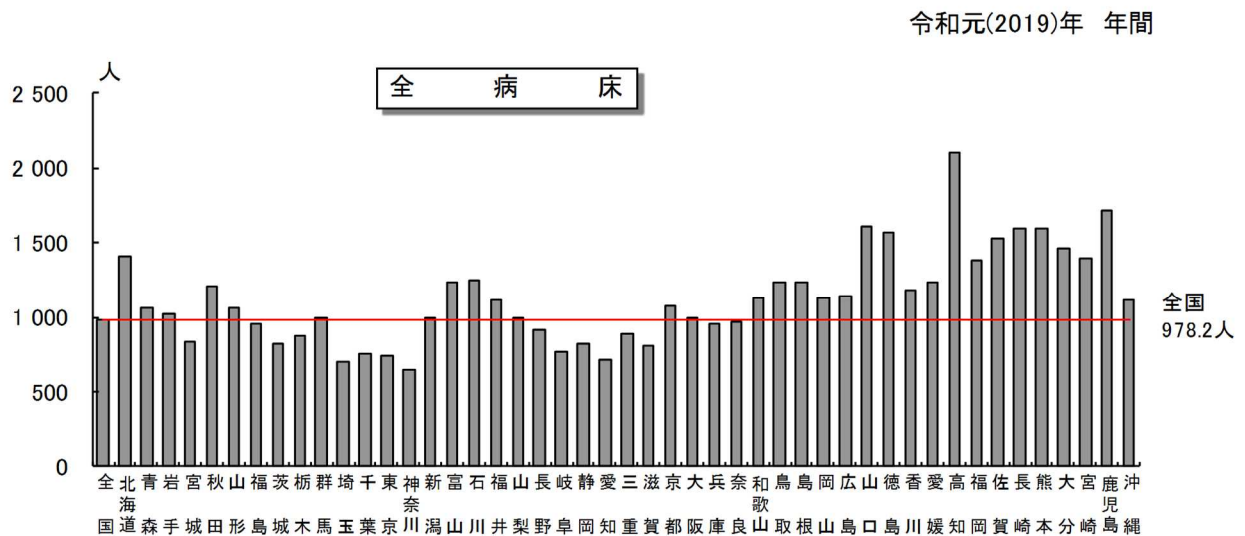
これを都道府県別にみると、「全病床」は高知県の(2107.8人)が最も多く、次いで鹿児島県(1712.0人)となっており、神奈川県(652.5人)、埼玉県(696.6人)などが少なくなっている。「精神病床」は鹿児島県(527.9人)が最も多く、次いで長崎県(492.7人)となっており、神奈川県(128.0人)、東京都(137.8人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(792.5人)が最も多く、次いで山口県(570.0人)となっており、宮城県(123.7人)、岐阜県(124.5人)などが少なくなっている。「一般病床」は高知県(886.8人)が最も多く、次いで大分県(842.8人)となっており、埼玉県(389.7人)、神奈川県(396.7人)などが少なくなっている。(図3)

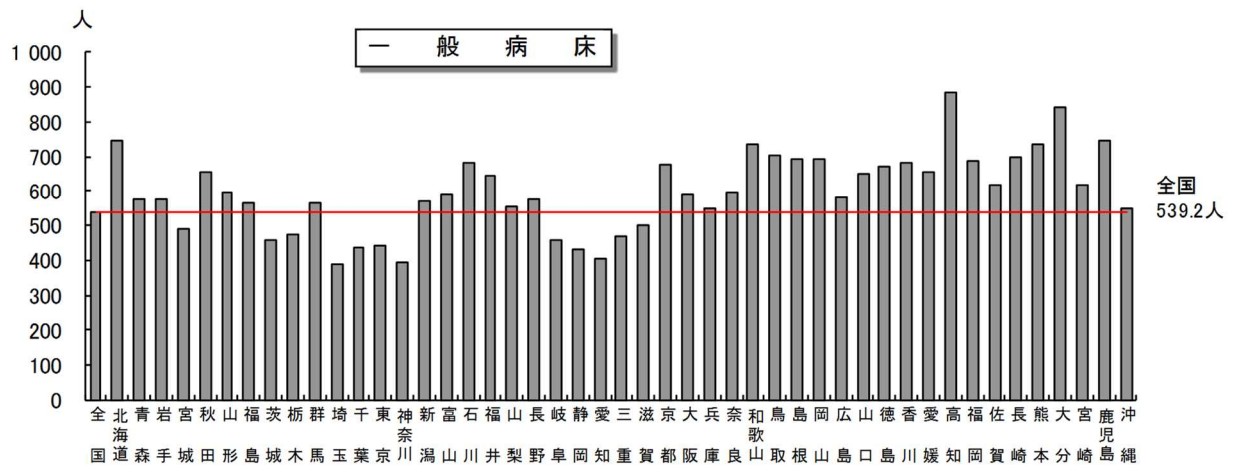
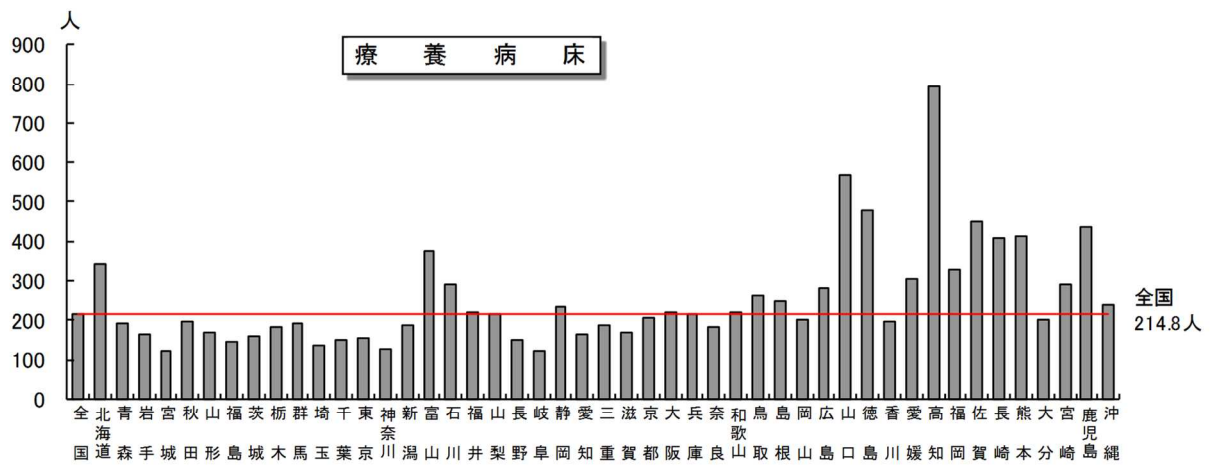
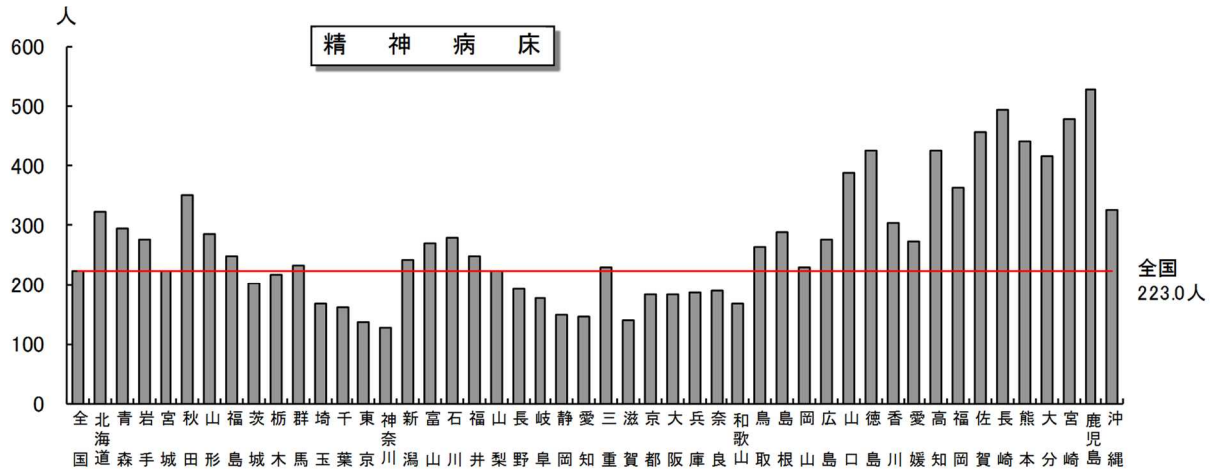
(参考)

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表14 都道府県一指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

図3 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数





## 2 病床利用率

病院の病床利用率は 80.5%となっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は 85.9%で前年に比べ 0.2 ポイント低下している。「療養病床」は 87.3%で前年に比べ 0.4 ポイント低下している。「一般病床」は 76.5%で前年に比べ 0.3 ポイント上昇している。また、「介護療養病床」は 90.7%で前年に比べ 0.6 ポイント低下している。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は 54.1%で、「介護療養病床」は 70.1%となっている。(表 3)

(参考) 統計表 13 人口 10 万対 1 日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表 3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		対前年 増減
	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	
	%	%	
病院			
全病床	80.5	80.5	△ 0.0
精神病床	85.9	86.1	△ 0.2
感染症病床	3.8	3.6	0.2
結核病床	33.2	33.3	△ 0.1
療養病床	87.3	87.7	△ 0.4
一般病床	76.5	76.2	0.3
介護療養病床	90.7	91.3	△ 0.6
療養病床を有する診療所			
療養病床	54.1	56.5	△ 2.4
介護療養病床	70.1	72.3	△ 2.2

注：1) 小数点第 1 位の数値は、小数点第 2 位を四捨五入して表示している。

2) 平成30年 7 月豪雨の影響により、平成30年 7 月分、8 月分の報告において、広島県の病院 1 施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

### 3 平均在院日数

#### (1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は27.3日で、前年に比べ0.5日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は265.8日となっており、「療養病床」は135.9日で前年に比べ5.6日短くなっている。「一般病床」は16.0日で前年に比べ0.1日短くなっている。また、「介護療養病床」は301.4日で、前年に比べ10.5日短くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は99.9日で、「介護療養病床」は140.1日となっている。(表4、図4)

(参考) 統計表 13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

**表4 病床の種類別にみた平均在院日数**

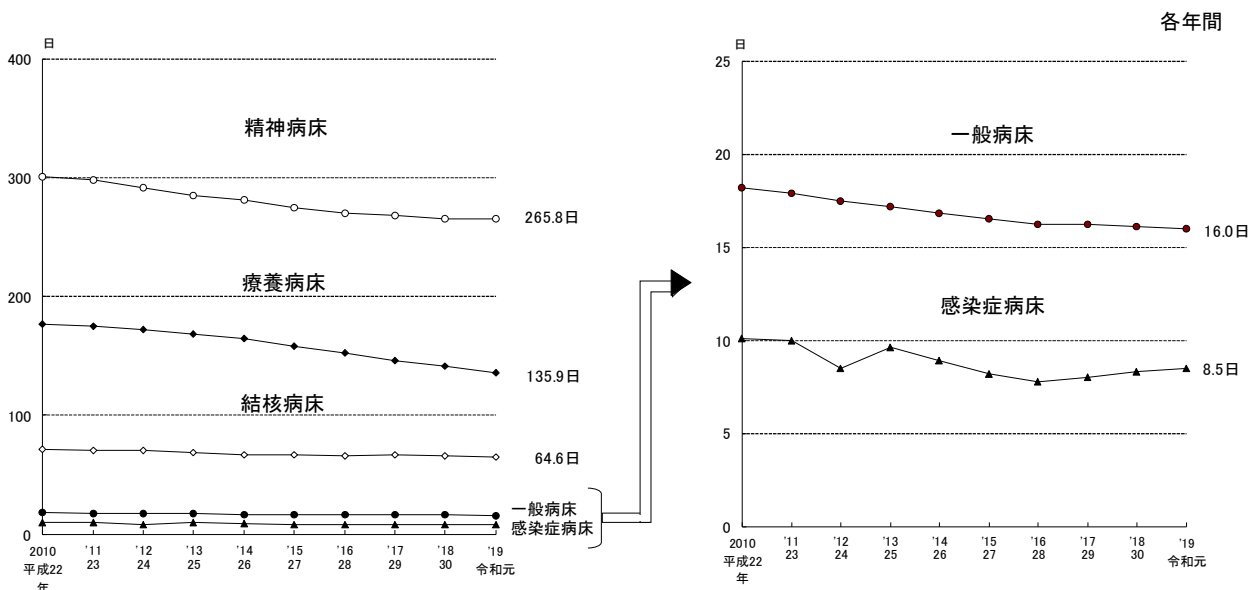
(単位:日) 各年間

	平均在院日数		対前年 増減数
	令和元年 (2019)	平成30年 (2018)	
<b>病院</b>			
全病床	27.3	27.8	△ 0.5
精神病床	265.8	265.8	△ 0.0
感染症病床	8.5	8.3	0.2
結核病床	64.6	65.6	△ 1.0
療養病床	135.9	141.5	△ 5.6
一般病床	16.0	16.1	△ 0.1
介護療養病床	301.4	311.9	△ 10.5
介護療養病床を除く全病床	26.7	27.0	△ 0.3
<b>療養病床を有する診療所</b>			
療養病床	99.9	97.9	2.0
介護療養病床	140.1	132.2	7.9

注: 1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

**図4 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移**



注: 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。  
熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設(阿蘇医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。  
平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

## (2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県（44.2日）が最も長く、東京都（21.7日）が最も短くなっている。「精神病床」は山口県（437.9日）が最も長く、東京都（186.6日）が最も短くなっており、「療養病床」は富山県（204.6日）が最も長く、長崎県（88.2日）が最も短くなっている。「一般病床」では高知県（21.0日）が最も長く、愛知県（13.7日）が最も短くなっている（表5、図5）

（参考）統計表 15 都道府県—指定都市・特別区・中核市（再掲）別にみた病床利用率及び平均在院日数

表5 病院の平均在院日数

（単位：日）

令和元（2019）年 年間

	全病床		精神病床		療養病床		一般病床	
全国	27.3		265.8		135.9		16.0	
長い県	高 知	44.2	山 口	437.9	富 山	204.6	高 知	21.0
	佐 賀	40.1	大 分	407.7	石 川	195.0	熊 本	19.6
	鹿 児 島	40.0	長 崎	368.7	北 海 道	188.8	鹿 児 島	19.5
	山 口	38.9	鹿 児 島	349.0	京 都	183.7	和 歌 山	19.2
	熊 本	38.2	茨 城	339.9	高 知	174.4	大 分	19.1
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
短い県	宮 城	24.0	高 知	230.2	山 形	101.3	沖 縄	15.0
	長 野	23.5	山 形	229.7	奈 良	100.2	宮 城	14.8
	愛 知	23.0	長 野	225.9	鳥 取	95.8	神 奈 川	13.8
	神 奈 川	21.8	大 阪	222.1	大 分	95.5	東 京	13.8
	東 京	21.7	東 京	186.6	長 崎	88.2	愛 知	13.7
（最長—最短）	22.5		251.3		116.4		7.3	

注：1）平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2）小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

3）数値が同率であった場合、四捨五入する前の数値を基に表示している。

図5 病院の都道府県別にみた平均在院日数

